

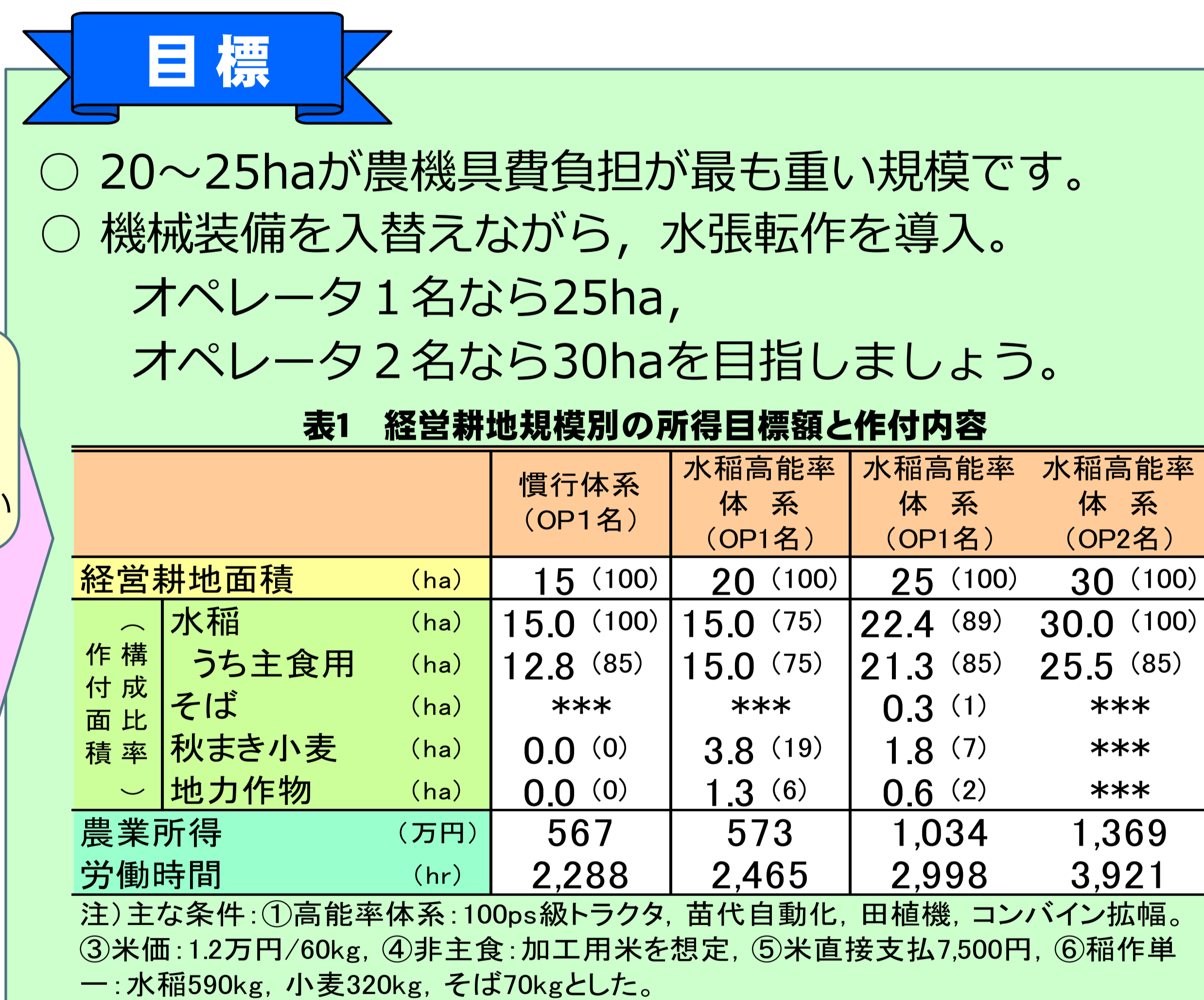
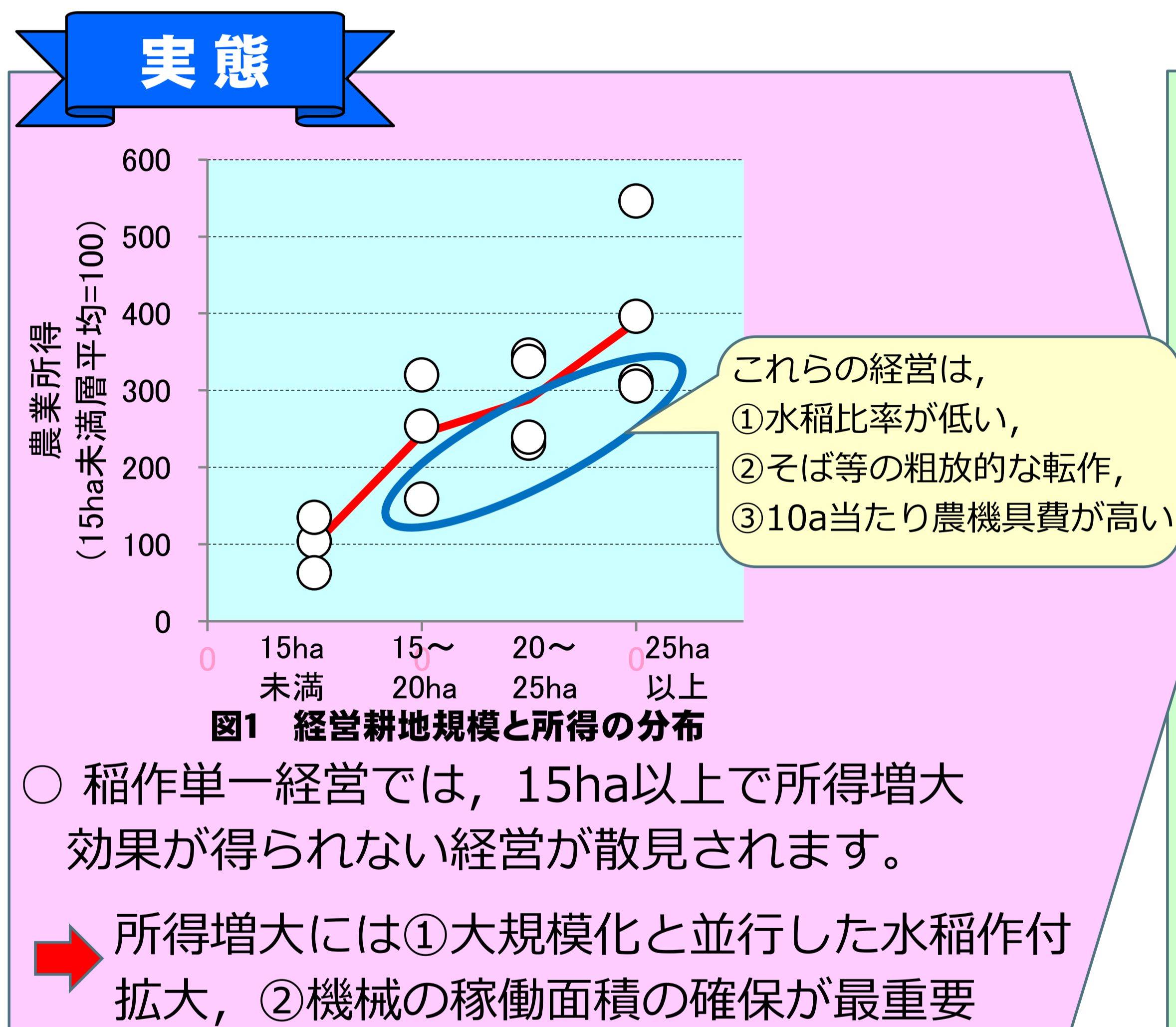
水田作経営, 畑作経営の大規模化と所得増大のポイント

概要 Abstract

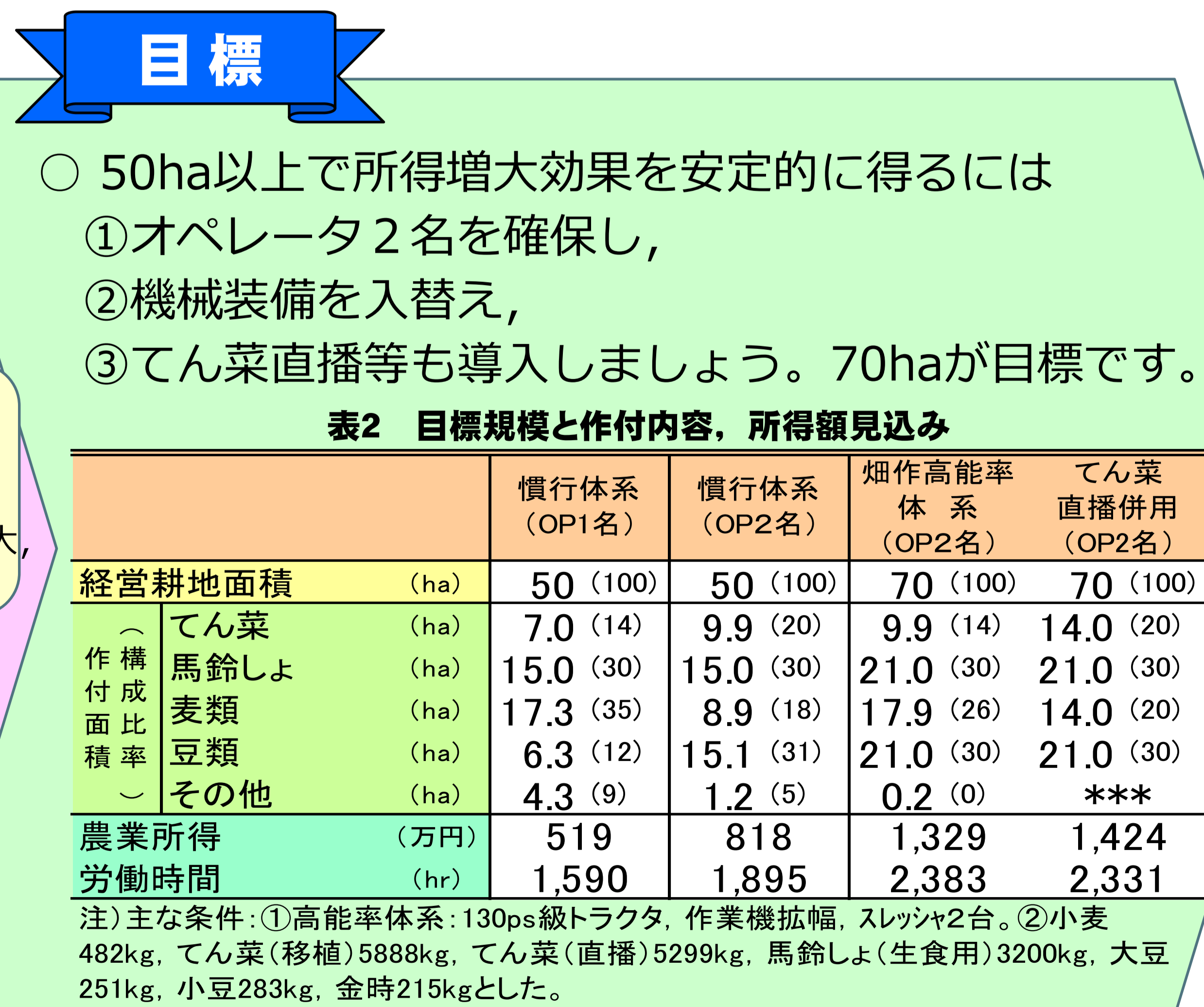
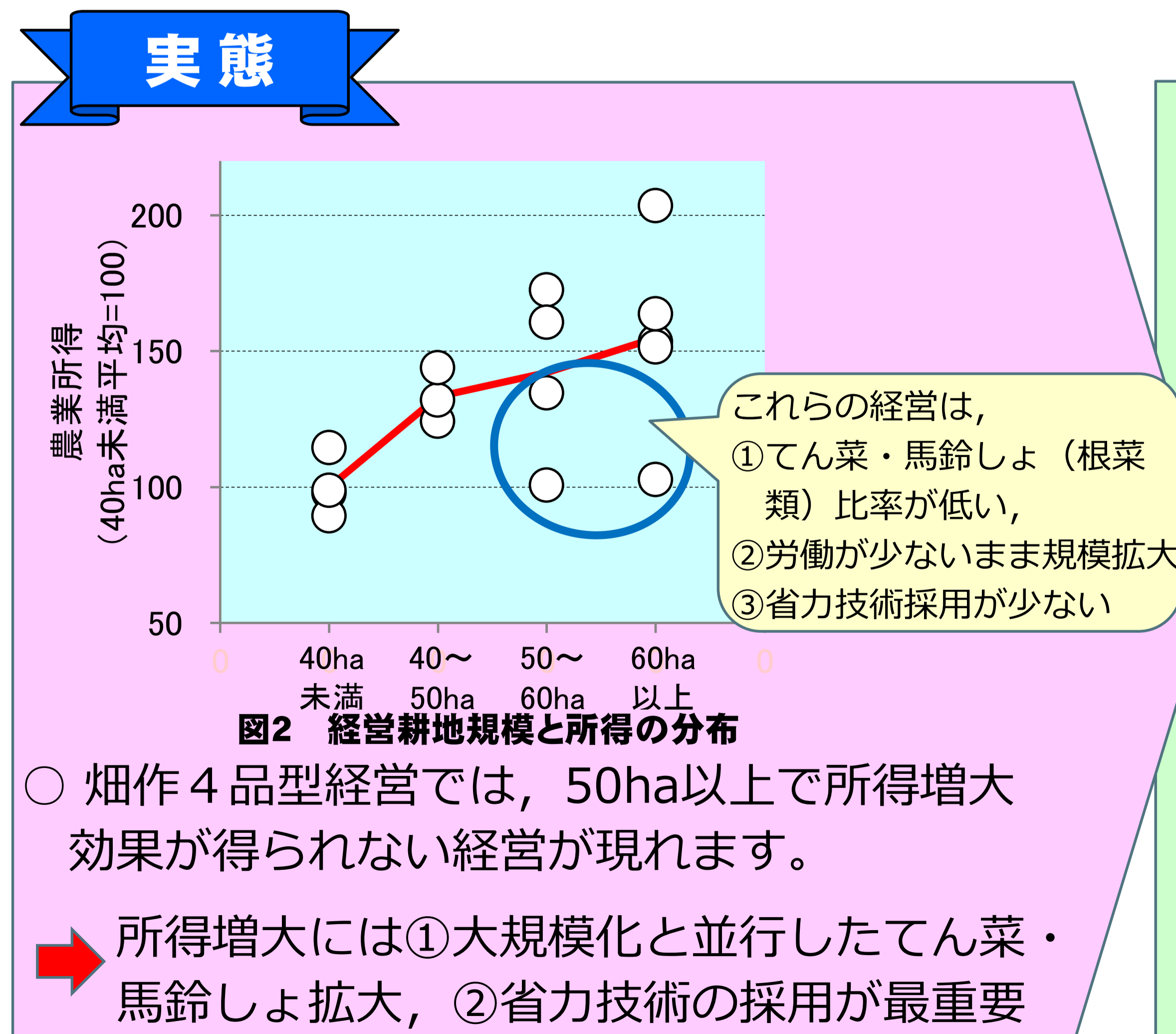
- 中央農試の動向予測では, 平成37年には, 中核的な経営の耕地面積は 水田作地帯で30ha強, 畑作地帯で60~70ha に達することが想定されます。
- 規模拡大に際した農機具建物費の増加を勘案して, 所得増大に向けた水田作経営, 畑作経営モデルを作成しました。

成果 Results

1. 稲作単一経営 (北・中空知タイプ) の所得増大効果



2. 畑作4品型経営 (十勝タイプ) の所得増大効果



連絡先 Contact

中央農業試験場 生産研究部 生産システムグループ
0123-89-2286
central-agri@hro.or.jp